

## 傾聴・癒しと地域発見・地域資源活用プロジェクト

### 取り組みに至る背景・事業の目的

高齢化と過疎化が進む地域では、たとえ元気であっても独居者や高齢者だけの家庭が増えており、隣近所とのふれあう機会も減少する傾向が見られるようになっている。

根羽村では従来から、民生委員による訪問、社協による地域サロンや女性グループの交流などが行われてきたが、いずれも単発的であったため、継続した活動へと発展させることが課題となっていた。

そんな中、村主催の傾聴ボランティア研修会が実施され、参加者たちは傾聴の重要性を実感、それを契機として村民主体の傾聴グループ「和（なごみ）」が結成され、継続的な支援活動がスタートした。



### 事業内容

- 村内名所めぐりバスツアー（参加者 32 名）
- 傾聴の集い、クリスマス会、お抹茶の会  
（参加者延べ 44 名）
- 傾聴のための講習会（参加者 24 名）
- 日本社会事業大学教授、学生参加による交流会



### 事業効果

延べ100名を超える「傾聴」活動により、「傾聴」への認識が根羽村の中に広がるとともに、村外からも学生ボランティアなどが加わり、新たな絆が生まれている。

また、傾聴活動の中で周辺住民の様子などを聞くことにより、集落全体の住民を見守る「地域見守り活動」へと発展してきている。

また、地域内で活動している他の女性グループやボランティアグループとの交流も始まり、地域福祉を行政に一任することなく住民協働により支えあう意識が根羽村全体に広がりつつある。



### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

村民による傾聴活動は、試行錯誤の繰り返しであったが、元気づくり支援金の交付は大変心強かった。

今後は、「傾聴」の質を高めるための自己研鑽を重ねていくことが大変重要だと感じている。基本的な技術や知識はもとより、それ以上に大切な、「あなたも私もこの世にたった一人しかいない大切な存在である」という気持ちを忘れずに、傾聴の村「根羽村」を目指していきたい。そして村民全てが生き生きと暮らせる村にしていきたいと考えている。



#### 【選定のポイント】

住民主導による傾聴活動は着実な広がりとともに、地域を支える柱となることが期待できる。

団体名 傾聴ボランティア「和」（根羽村）  
 連絡先 根羽村社会福祉協議会 片桐利江  
 0265-49-2288

事業タイプ ソフト事業  
 事業費 393,181円  
 支援金額 370,000円